

その瞬間に、東芝。

住友電装様で導入。

自動車メーカーで高まる各国対応各国仕様のニーズに、世界28カ国の現地法人すべてが「同一品質同一製造設計」で、東芝ソリューションのプロジェクト管理システムが力強く支える。

自動車の内部配線システム、ワイヤーハーネスのグローバルカンパニーである住友電装。世界各国でビジネスを展開する自動車メーカーに、均一な製品とサービスを提供することを目指して、2002年、製造設計分野の改革に着手した。それは、社内の部品コードをグローバルに統一して、さらに製造設計工程、作業内容などの全体が一目でわかるプロジェクト管理システムの構築。そのパートナーとして指名されたのが、東芝ソリューションである。東芝ソリューションは、多彩な機能を網羅した独自のツール「Project Meister™」をシステムに組み込み、業務プロセスのテンプレート化や部品コードの統一を実現。約25万点にもおよぶ部品の中から欲しい情報をわずか7秒で入手可能とした。また、画面イメージを試作して検証しながら進める手法で、ユーザーである設計者の使い勝手を向上。そして、完成したシステム「e-MACS」*は、現在、国内だけでなく、欧米の主要拠点で活用され、製造設計業務の効率化に貢献している。今後、住友電装では、「e-MACS」の利用範囲を、世界28カ国の製造設計・生産拠点に拡大していく。東芝ソリューションのサポートに寄せられる期待も大きい。

東芝ソリューションの プロジェクト管理システム「Project Meister™」。

※「Engineering Database for Management and Collaboration System」。住友電装様の社内ですべて使われている呼称です。

世界中の部品25万点を

7秒で。

つくりたかったのは、たとえ国や設計者が変わっても常に安定した“住友電装品質”を実現できるシステムでした。

住友電装 情報システム部 システム企画担当部長 小池省吾様
住友電装 EENS開発本部 開発企画部 担当部長 牧敬二様